BOOKREVIEW

静岡県沼津市・塚本歯科クリニック
歯科衛生士 鈴木亜紀

歯周病の“治り方（治癒形態）”と“治し方（治療方法）”を整理し，治癒に導く歯周治療を解説

歯科医師・歯科衛生士のための
ペリオの治癒形態と治し方
牧野　明 著
A4 判変／160 頁／定価 9,350 円（本体 8,500 円＋税 10%）／医歯薬出版（2025 年 5 月）

以前の私は，歯周治療で「何をどう進めればいいのか」自信がもてず，「これって本当に治っているのかな？」と不安に感じる日々が続いていました．そんなときに出合ったのが，牧野　明先生の前著『歯周基本治療で治る！ 歯周基本治療で治す！』（医歯薬出版，2013 年）でした．「歯周病はこうやって治るのか！」と，パッと目の前が開けたように思えたのです．それ以来，臨床で迷ったときには必ず本を開き，似ている症例を探して治療の指針としました．その積み重ねが「治せた」という実感へとつながり，最終的には日本歯周病学会認定歯科衛生士の資格取得にも結びつきました．私にとっては，まさに“歯周治療のバイブル”!!　辞書のように心強い存在です．

そしてこの度，待望の続編が発刊されました．本書では，21 もの症例を元に，ブラッシングの目的や SRP 後の歯周組織の変化，歯周外科治療や歯周組織再生療法の役割と効果が，豊富な臨床写真やＸ線写真とともに解説されています．特に私が推したいのは，「乾いた歯肉になるまで待つ」という牧野先生の臨床スタイルです．先生曰く，「乾いた歯肉」はプラークコントロールが確立したサインで，最初に歯科衛生士が目指したい歯肉の状態とのこと．歯肉の変化を感じることで，歯周治療の効果と患者さんとの関係の深まりを実感でき，私自身，これが大きなやりがいとなっています．

また，Chapter2「歯肉を読む」では，歯科衛生士がみるべき歯肉の性状やその原因が示され，「X 線写真を読む」では骨欠損像や歯槽硬線，歯根膜腔などの観察ポイントが解説されています．これらをよく読めば，歯周組織について深く理解できるようになります．さらに，Chapter3 では，難易度の高い根分岐部病変や咬合性外傷に対しても，長期経過症例を元に解説が加えられており，圧巻です．

歯科衛生士としては，外科治療に頼らず，歯周基本治療で安定を得ることが理想だと思います．そして，そのためには，症例を「読む」目をもつこと，一つひとつの処置の精度を高めることが不可欠です．「治癒のかたち（治り方）」を口腔内写真やＸ線写真，さらには解説やイラストなどと合わせて見ることにより，「治療方法（治し方）」がみえてきます．そこから，自分自身の足りない点や学ばなければならない技術が何なのかがわかってくるのです．

本書は，これから臨床力を高めたい方や，日々の現場で悩む歯科衛生士にとって，観察力と技術力を磨く道筋を示してくれる，かけがえのない一冊です．